

(10) 対象基準地の前	年の検討 標準価格等	③ 価格形成要因の 変動状況	①-1対象基準地の検討 ■継続 □新規 前年標準価格 140,000 円／㎡ ①-2基準地が共通地点（代表標準地等と同一地点）である場合の検討 □代表標準地 □標準地 標準地番号 - 公示価格 円／㎡				[一般的要因] 継続して緊急事態宣言が発出され、経済状況は厳しい状況にあるが、政府による各種支援策もあり、不動産市場は安定的に推移している。	
					[地域要因] 熊川駅徒歩10分圏内の土地の潜在需要はあるが、不透明な経済状況から、需要はやや弱含みであるものの、地価は安定基調にある。			
					[個別的要因] 北方位の土地であり、その立地から、一般住宅地としての市場競争力に劣る面は見当たらない。			
			②変動率		年間	0.0 %	半年間	%